

3000000-0001 M04-1

M04-1

……据付け方法 送油管の取付け ●油タンクの送油/バルブまたは、給油コックなどの油の出口とストーブの送油管に附属または別売のゴム製送油管を差し込み、附属品のホースバンド(小)で締め付けてください。 また、ゴム製送油管は点検しやすいように配慮して取り付けてください。 ●ゴム製送油管の接続部のホースバンド(小)は締め付け不足や締め付けすぎに注意してください。 ●送油管の上には重量物がのったり、折れ曲がったり、空気がたまりができるような形状にならないようにご配慮ください。 ●規定の送油管以外は使用しないでください。 ●ゴム製送油管は、油タンクを屋外に設置する場合は使用しないでください。 ●油タンクを屋外に設置する場合は、金属製送油管(外径φ8銅管)を使用してください。 お願 金属製送油管で配管する場合は、切断や加工時の切りくずや切り粉をきれいに取り除いてから配管してください。 切りくずや切り粉が配管内に入りますと、ストーブの故障の原因になります。 ●ゴム製送油管の取付けは、曲げ半径が小さかったりねじれたりするとゴム内部に応力加わり短時間でヒビ割れなどが発生し油漏れの原因になります。曲げ半径は最低でもR100mm以上になるよう、またねじれないよう設置してください。 ●ゴム製送油管は紫外線に当たると劣化が早くなります。できるだけ日光の当たらない場所を選んでください。 ●ゴム製送油管は時間とともに劣化しますので定期的に点検してください。 2年に1度は新しい物に交換されることをおすすめします。		……据付け方法 ② モルタル、コンクリートの壁に固定する場合は、コンクリート用プラグを壁に打ち込んでから、①項と同様に壁固定金具で固定してください。 コンクリート・モルタル壁 壁固定金具 コンクリート用プラグ ねじ ③ 石膏ボード、薄い合板など中空壁に固定する場合は、中空壁用プラグを壁に打ち込んでから、①項と同様に壁固定金具で固定してください。 石膏ボード・中空壁 壁固定金具 中空壁用プラグ ねじ ④ 土壁、しっくい壁などに固定する場合は、壁にそえ木をしてから、①項と同様に壁固定金具で固定してください。 土壁 壁固定金具 木ねじ そえ木		3 給排気筒の取付け ■使用する工事部品は、必ず本機の附属品及びトヨトミ純正別売部品の給排気筒を使用してください。 給排気筒の取出し場所の選定 ●⚠警告、⚠注意の項をご確認ください。 ●給排気筒トップが閉そくされないよう積雪の多い地方では注意してください。 排ガスを再度吸込で不完全燃焼を起こすことがあります。 ●給排気筒トップは高温になります。人通りの多い所や、可燃物がある所や、可燃性ガスの発生する所には取り付けないでください。 ●植木や愛がん動物は給排気筒トップの出口より遠ざけてください。 ●小さなお子さまがふれるような所には取り付けないでください。 ●石油を燃焼させるため、点火時、室温調節器の作動時、消火時に、においがです。出入口に近い所、また、外気が室内に入りやすい所には取り付けないでください。 隣の家に、においが入ることは迷惑となりますので、避けてください。 ●壁に穴をあける場合、壁内のすじかい・鉄筋・鉄骨、電気・電話配線、ガス・水道配管などにふれない所を選んでください。 ●高層建築の集合煙突を利用した給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。 標準給排気筒の取付け ●壁内のすじかい・鉄筋・鉄骨、電気・電話配線、ガス・水道配管を充分考慮してください。 ●壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。 ●壁の厚さが130mm以下、320mm以上である場合は別売部品を使用してください。 ●給排気筒の端面(パイプの先端など)でケガをしないように必ず手袋をはめておこなってください。 ●赤色・緑色の絶縁シートは、はがさないでください。 ① 設置場所を決めてください。 ② 給排気筒の穴あけ位置を決めて印をつけてください。同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。 【給排気筒取付け型紙をご使用ください】
……標準給排気筒の取付け ⑥ 壁厚が130～230mmのときは、給排気筒トップから給気ジョイントと排気ジョイントを取りはすしてください。 ●排気ジョイントをもう一度、取り付ける場合は、必ず給排気筒トップ側に取り付けてください。 給排気筒トップ 排気ジョイント 給気ジョイント ⑦ 排気用L形継手を右図のような位置になるようチャンバー室の排気口に接続してください。 排気用L形継手		③ 壁に給排気筒の穴(φ70～φ80)をあけてください。 ●室内側から室外側に向けて約2°の傾斜で下向きにあけてください。 標準給排気筒設置可能範囲 室内側 約2°の傾斜 室外側 排気口 給気口 壁固定金具穴位置 231.5 111.5 107 165.5 45 278 334 235 200 94 φ40 388 ゴム製送油管接続位置 ホルソー ④ 標準給排気筒を、給排気筒トップとチャンバー室にねじって分離してください。 このとき、給気ジョイントは給排気筒トップに取り付けた状態で分離してください。 チャンバー室 給排気筒トップ 標準給排気筒 給気ジョイント チャンバー室 ⑤ 壁厚が230～320mmのときは、標準給排気筒はそのままの状態で使用してください。 壁厚が320mm以上の壁穴に取付けますと、給排気筒トップが外れるおそれがありますので、320mm以上の厚みのある壁には取り付けないでください。 排ガスが室内に漏れることがあります。 給排気筒トップ 給気ジョイント チャンバー室 はすれている壁厚320mm以上 使用禁止		⑧ チャンバー室の「上」マークを確認して室内から壁面に木ねじ等(3本)で固定してください。 (フランジの「上」マークを上にして取り付けますと、先下がりの2°勾配になります。) ●このときチャンバー室に取り付けてあるタッピンねじを使用して、ストーブ背面にある排気筒外れ検知線をはすし、排気筒外れ検知線の先にある丸端子を固定します。 ●排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。 ●使用しないチャンバー室の給気口には給気口キャップをかぶせておいてください。 「上」マーク 木ねじ(3箇所) チャンバー室 室内 壁 室外 排気筒外れ検知線 給気口キャップ ⑨ 給排気筒トップを室外より壁穴を通し、チャンバー室へ軽くねじ込んで(右廻し)壁をはさんで仮固定してください。 チャンバー室 給排気筒トップ 壁

FR-V36M・FR-SS36M 工事説明書

標準給排気筒の取付け

⑩ 給気ホースをチャンバー室の給気側とストーブ背面の給気口に取り付け、ホースバンド(大)で固定します。

- 排気用 L 形継手を断熱カバーでしっかりと覆ってください。
- 排気用 L 形継手が露出していないことを確認してください。
- 給気ホースは、排気用 L 形継手に接触しないように取り付けてください。熱で変形するおそれがあります。
- 給気ホース長さは、給排気筒トップの取付け位置によって、カッターナイフ、はさみなどを使用して下図の切断位置で、切って調節してください。切断箇所はホースバンド(大)より少し大きいために切断箇所をつぶすようにしてホースバンド(大)を取付位置に入れてください。

断熱カバー

給気ホース

ホースバンド(大)

切断位置

ホースバンド(大)取付位置

ホースバンド(大)

切断位置の拡大図

⑪ ストーブを静かに移動させ、排気用 L 形継手をストーブの排気口にはめ、ストーブに附属している排気筒ストッパーで固定します。また、チャンバー室側もパイプホルダーを使用して固定します。

- 排気用 L 形継手を排気口にはめるとき、排気用 L 形継手の O リングに石けん水または水を塗ってからはめてください。
- 給気ホースが排気用 L 形継手に接触していないことを確認してください。接触すると給気ホースが熱変形するおそれがあります。
- 給気ホースがつぶれていないことを確認してください。

排気用 L 形継手

給気ホース

排気筒ストッパー

パイプホルダー

排気筒ストッパー

⑫ ⑨項で軽くねじ込んで仮固定した給排気筒トップを、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。

- 「上」マークを上側にすると約 2° の傾斜がとれて、設置できます。

⑬ 給排気筒トップのフランジ部全周などにコーキング剤(シリコン系)を塗布し、雨仕舞をしてください。

コーキング剤

お願い

完全にコーキングしないと、雨水が室内や壁内に入ることがありますので、充分注意してください。

延長給排気工事の限界

■ 延長工事部品は、必ずトヨトミ純正別売部品 FFP-68-4040(1m 延長セット)、FFP-69-4040(2m 延長セット)などを使用してください。

- 給排気筒の長さは 3 m 以下、曲がりは 3 箇所以下にしてください。
- 標準給排気方式以外にもお部屋の条件によって、排気筒と給気ホースを延長して取り付けることができます。ただし延長限界は 3 m 以下で曲がり 3 箇所以下です。

上方延長設置例

上方横延長設置例

横延長設置例

お願い

- やけど防止のため排気筒には、必ず断熱カバーを装着してください。
- 壁や給気ホースに排気筒が接触しないように、パイプ支え金具で、壁などに固定してください。

集合煙突利用の禁止

高層建築の集合煙突を利用した給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。

給排気筒の再利用禁止

警告

古い給排気筒は使用しないでください。必ず付属の給排気筒セットを使用してください。

使用禁止

4 試運転

- 試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。
- 取扱説明書「15 据付け・移設について」の「試運転」に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。

お願い

- ストーブの据付け工事が終わりましたら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常の点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処置方法、連絡先等をお教え願います。
- 同梱の「取扱説明書(保証書付き)」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。

5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。

高地仕様への変更のしかた

〔標高1000～1500mの場所でご使用の場合〕

※イラストはFR-V36Mです。

① 運転停止中に「」「」ボタンを同時に3秒押します。デジタル表示部が「1 E」表示に変わります。(室内温度が表示されていることもありますがお問題ありません。)

設定温度

室内温度

8:00

温度(時計)

設定温度

室内温度

1 E

温度(時計)

給油

② デジタル表示部が「1 E」表示中にエコボタンとタイマーボタンを同時に3秒間押し続けます。デジタル表示部に「AL Hi」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻ります。これで高地設定は完了です。一度設定をすれば電源プラグを抜いたり、停電があった場合でも高地設定は保持されます。

設定温度

室内温度

AL Hi

温度(時計)

設定温度

室内温度

8:00

温度(時計)

給油

もし、高地設定を解除したいときは、①項の操作からやり直してください。デジタル表示部に「AL Lo」表示が 3 秒間点滅し、元の表示に戻れば、高地設定の解除は完了です。

設定温度

室内温度

AL Lo

温度(時計)

設定温度

室内温度

8:00

温度(時計)

給油

(標高1000m未満)

278

標準給排気筒の取付け

お願い

- 壁内のすじかい・鉄筋・鉄骨、電気・電話配線、ガス・水道配管を充分考慮してください。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものである場合は、別売部品を使用してください。

給排気筒の取付け、本体の固定方法は、裏面の説明書を良くお読みください。

- 設置場所を決めてください。
- 給排気筒の穴あけ位置を決めて印をつけてください。同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。
- 壁に給排気筒の穴(φ70～φ80)をあけてください。室内側から室外に向けて約 2° の傾斜で下向きにあげてください。

給排気筒取付け型紙

工事店様へのお願い

この製品は

- 排気筒内径 → φ40, 外径 → φ41
- 給気筒接続口外径 → φ40, 内径 → φ39 になっています。

型紙のご使用方法

① 型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付けてください。

② 給排気筒の穴あけ位置に印をつけてください。同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。

壁

床

セロハンテープ

型紙

標準給排気筒設置可能範囲

φ70～φ80

334

235

200

94

R240

388

450

281.5

壁固定金具穴位置

排気口

壁固定金具穴位置

■ ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

※保守・点検のために片側は30cm以上離してください。
※FR-SS36Mはフロントパネルより前方に側壁がある場合、人感センサー誤作動防止のために両側30cm以上離してください。

■ 給排気筒トップから周囲の可燃物までの隔離距離は図のようにしてください。

● 給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物が無いこと。